



これが軍拡政治の現実

沖縄・与那国にみる



与那国町の陸上自衛隊レーダー

自衛隊基地増強
400億円超
(12～25年度)

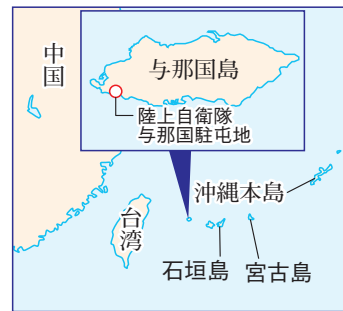


島唯一の介護事業所
4850万円
(12年度)

与那国町唯一の
通所介護事業所

自公維、予算案賛成
5面

今号は3/9・16
合併号
次の発行は
3月23日号



2016年に開設された陸
上自衛隊与那国駐屯地

自民・公明・維新は8・7兆円もの大軍拡予算案を押し通そうとしています。予算案には沖縄県の与那国島(与那国町、人口1695人)の自衛隊基地増強費も盛り込まれています(68億円)。台湾が目と鼻の先にある日本最西端の島。米中の「台湾有事」を想定した自衛隊の基地増強が進む一方、介護サービスが足りず、介護が必要な高齢者の約半数が島を離れています。税金は軍拡より介護に。島の人の願いは切実です。
前田泰孝記者

102歳の母の
介護のため島外から通う

牧野靖さん(67)



介護必要な人の半分が島外へ「税の使い方おかしい」

「旅に出る」。介護のため高齢者が住み慣れた島を離れることを指す言葉です。
与那国町の介護保険の要介護・要支援認定者数は68人。このうち島外で介護サービスを受けている人が半数近くの31人にのぼります。島には地域密着型の通所介護事業所(定員10人)が一つあるだけ。寝たきりになると島外の介護施設に入るか、島外の家族を頼るしかありません。
国が同町の介護事業所に投じた予算は約4850万円です(2012年度)。一方、陸上自衛隊与那国駐屯地など基地増強に投じた予算は少なくとも400億円超(12～25年度、25年度は予算案)。介護事業所の予算の800倍超です。
陸自沿岸監視部隊の配備から始まった自衛隊基地建設。それを守ることを口実に基地強化がさらに加速しています。
与那国町の母親(102)を介護するため、沖縄本島の八重瀬町から通う牧野靖さん(67)は訴えます。「大軍拡のお金があるなら、島に介護施設を作ってほしい。税金の使い方が間違っています」
6面につづく

